

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

地域公共交通確保維持改善事業実施要領（抜粋）

この実施要領は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（平成23年3月30日国総計第97号、国鉄財第368号、国鉄業第102号、国自旅第240号、国海内第149号、国空環第103号。以下「交付要綱」という。）のほか、地域公共交通確保維持改善事業費補助金の交付等地域公共交通確保維持改善事業の実施に当たって必要な事項を定める。

1. ～5.（略）

6. 事業評価について

（1）事業評価の実施

①自己評価（一次評価）

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、評価（以下「自己評価」という。）を行い、当該自己評価の結果を、地域公共交通確保維持事業及び地域公共交通調査等事業にあつては、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに、地域公共交通バリア解消促進等事業にあつては、補助金の交付を受けた会計年度の翌年度の1月末までにそれぞれ協議会から、地方運輸局、神戸運輸監理部、地方航空局又は沖縄総合事務局（以下「地方運輸局等」という。）に報告するとともに、公表することとする。

②二次評価

ア. 実施対象

バリアフリー化設備等整備事業及び鉄道軌道安全設備等整備事業を除く各事業については、自己評価（一次評価）等を基に二次評価を行うこととする。

イ. 実施方法

二次評価を実施する際には、当該評価の客観性・妥当性を担保するため、地方運輸局等に各担当部長等及び学識経験者等の有識者からなる第三者評価委員会を設置することとし、当該委員会においては、地方運輸局等が作成した二次評価案等について審議する。地方運輸局等においては、その結果を踏まえて評価を実施することとする。

地方運輸局等は、協議会に対して当該二次評価結果を通知するとともに、必要に応じて、事業計画の見直し等を求め、協議会では、二次評価の結果を踏まえ、必要に応じて確保維持改善計画、後続事業又は地域の取組等に反映させる。

二次評価の結果を含む事業評価の結果について、地域公共交通確保維持事業及び地域公共交通調査等事業にあつては補助金の交付を受けようとする会計年度の2月末までに、地域公共交通バリア解消促進等事業（利用環境改善促進等事業）にあつては補助金の交付を受けた会計年度の翌年度の2月末までに、それぞれ地方運輸局等から国土交通省総合政策局へ提出することとする。

ウ. 複数年度評価（隔年評価）

地域公共交通確保維持事業のうち、以下の事由に該当する系統、航路又は航空路（以下「系

統等」という。)に係るもの以外のものにあつては、二次評価を翌年度に一括して行うことができるものとする。この場合において、複数の系統等を包括的かつ一体的に評価しているときは、当該評価の単位ごとに当該事由への該当の有無を判断することとする。

【実施を必須とする系統等】

- ・前年度に二次評価を行っていないもの
- ・事業初年度のもの（地域公共交通調査事業の結果を受けて確保維持改善計画を策定し、地域公共交通確保維持事業に移行したものを含む。）
- ・一次評価の結果が芳しくないもの

【実施を地方運輸局等の任意選択とする系統等】

- ・協議会において二次評価の実施を希望するもの
- ・その他地方運輸局等において二次評価の実施が必要であると認めるもの

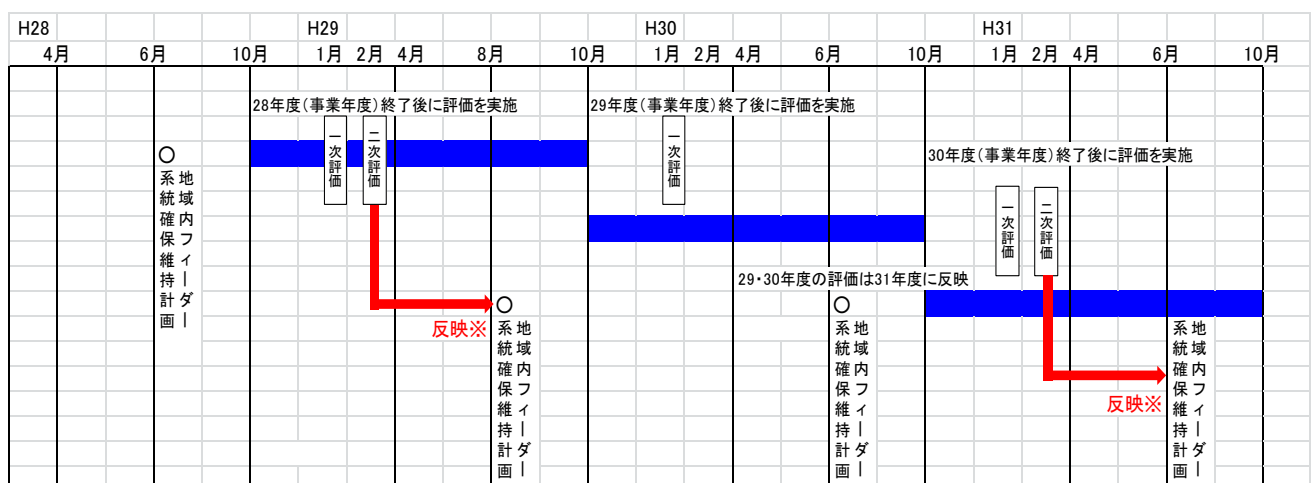
(2) (略)

(3) その他

上記によることができない特段の事情がある場合は、国及び協議会において必要な調整を行い、適切に対応することとする。

附則 (略)

(手順)



夕陽ヶ丘線の運行実績

○平成28年度

月別	輸送人員	運行便数	1便当たり
10月	13,738	14 便 × 31 日 = 434 便	31.7 人
11月	15,057	14 便 × 30 日 = 420 便	35.9 人
12月	15,315	14 便 × 31 日 = 434 便	35.3 人
1月	15,354	14 便 × 30 日 = 404 便	38.0 人
2月	13,258	14 便 × 29 日 = 406 便	32.7 人
3月	13,123	14 便 × 31 日 = 434 便	30.2 人
4月	11,133	14 便 × 30 日 = 420 便	26.5 人
5月	7,678	14 便 × 31 日 = 434 便	17.7 人
6月	7,327	14 便 × 30 日 = 420 便	17.4 人
7月	8,557	14 便 × 31 日 = 434 便	19.7 人
8月	7,611	14 便 × 31 日 = 434 便	17.5 人
9月	8,254	14 便 × 30 日 = 420 便	19.7 人
計	136,405	14 便 × 365 日 = 5,094 便	26.8 人

1/20雪害△14回・1/21雪害△2回

※平成28年度の目標 1日の乗車人数 365人

※平成28年度実績 日平均 輸送人員 $136,405 \div 365 = 374$ 人

○平成29年度

月別	輸送人員	運行回数	1便当たり
10月	13,978	14 便 × 31 日 = 434 回	32.2 人
11月	16,085	14 便 × 30 日 = 420 回	38.3 人
12月	14,834	14 便 × 31 日 = 434 回	34.2 人
1月	16,374	14 便 × 30 日 = 420 回	39.0 人
2月	12,686	14 便 × 28 日 = 392 回	32.4 人
3月	12,932	14 便 × 31 日 = 434 回	29.8 人
4月	13,785	14 便 × 30 日 = 420 回	32.8 人
5月	11,338	14 便 × 31 日 = 434 回	26.1 人
6月	8,831	14 便 × 30 日 = 420 回	21.0 人
7月	9,096	14 便 × 31 日 = 434 回	21.0 人
8月	7,485	14 便 × 31 日 = 434 回	17.2 人
9月	9,098	14 便 × 30 日 = 420 回	21.7 人
計	146,522	14 便 × 364 日 = 5096 回	28.8 人

三輪→小泉間の増発分が追加されている

※平成29年度の目標 1日の乗車人数 380人

※平成29年度実績 日平均 輸送人員 $146,522 \div 364 = 403$ 人

川東・若松地区コミュニティバスの運行実績

○平成28年度

月別	輸送人員	運行便数				1便当たり	
		平日	×	日	=		
10月	1,054	平日	9 便	×	21 日	= 189 便	3.9 人
		土日祝	8 便	×	10 日	= 80 便	
11月	1,090	平日	9 便	×	19 日	= 171 便	4.2 人
		土日祝	8 便	×	11 日	= 88 便	
12月	1,294	平日	9 便	×	22 日	= 198 便	4.8 人
		土日祝	8 便	×	9 日	= 72 便	
H28年 1月	1,135	平日	9 便	×	18 日	= 162 便	4.5 人
		土日祝	8 便	×	11 日	= 88 便	
2月	1,295	平日	9 便	×	20 日	= 180 便	5.1 人
		土日祝	8 便	×	9 日	= 72 便	
3月	1,397	平日	9 便	×	22 日	= 198 便	5.2 人
		土日祝	8 便	×	9 日	= 72 便	
4月	1,200	平日	9 便	×	20 日	= 180 便	4.6 人
		土日祝	8 便	×	10 日	= 80 便	
5月	1,078	平日	9 便	×	19 日	= 171 便	4.0 人
		土日祝	8 便	×	12 日	= 96 便	
6月	1,154	平日	9 便	×	22 日	= 198 便	4.4 人
		土日祝	8 便	×	8 日	= 64 便	
7月	1,079	平日	9 便	×	20 日	= 180 便	4.0 人
		土日祝	8 便	×	11 日	= 88 便	
8月	971	平日	9 便	×	22 日	= 198 便	3.6 人
		土日祝	8 便	×	9 日	= 72 便	
9月	1,197	平日	9 便	×	20 日	= 180 便	4.6 人
		土日祝	8 便	×	10 日	= 80 便	
計	13,944		便	×	364 日	= 3,157 便	4.4 人

1/20 全休

※平成28年度の目標 1日の乗車人数 38人

※平成28年度実績 日平均 輸送人員 $13,944 \div 364 = 38$ 人

○平成29年度

月別	輸送人員	運行便数				1便当たり	
		平日	×	日	=		
10月	1,188	平日	9 回	×	20 日	= 180 回	4.4 人
		土日祝	8 回	×	11 日	= 88 回	
11月	1,105	平日	9 回	×	20 日	= 180 回	4.3 人
		土日祝	8 回	×	10 日	= 80 回	
12月	1,397	平日	9 回	×	21 日	= 189 回	5.2 人
		土日祝	8 回	×	10 日	= 80 回	
平成29年 1月	1,246	平日	9 回	×	20 日	= 180 回	4.8 人
		土日祝	8 回	×	10 日	= 80 回	
2月	1,319	平日	9 回	×	20 日	= 180 回	5.4 人
		土日祝	8 回	×	8 日	= 64 回	
3月	1,393	平日	9 回	×	22 日	= 198 回	5.2 人
		土日祝	8 回	×	9 日	= 72 回	
4月	1,134	平日	9 回	×	20 日	= 180 回	4.4 人
		土日祝	8 回	×	10 日	= 80 回	
5月	1,073	平日	9 回	×	20 日	= 180 回	4.0 人
		土日祝	8 回	×	11 日	= 88 回	
6月	1,080	平日	9 回	×	22 日	= 198 回	4.1 人
		土日祝	8 回	×	8 日	= 64 回	
7月	1,079	平日	9 回	×	20 日	= 180 回	4.0 人
		土日祝	8 回	×	11 日	= 88 回	
8月	1,113	平日	9 回	×	22 日	= 198 回	4.1 人
		土日祝	8 回	×	9 日	= 72 回	
9月	1,120	平日	9 回	×	20 日	= 180 回	4.3 人
		土日祝	8 回	×	10 日	= 80 回	
計	14,247		回	×	364 日	= 3,159 回	4.5 人

※平成29年度の目標 1日の乗車人数 38人

※平成29年度実績 日平均 輸送人員 $14,247 \div 364 = 39$ 人

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月22日

協議会名: 北見市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
北海道北見バス(株)	夕陽ヶ丘線 小泉8号ー西8号線ー小泉8号	高齢者クラブと連携し、自家用車から公共交通への転換を促すため、きたみ交通マップを用いた利用促進策を実施したほか、北見市の身近な交通の情報を掲載したニュースレターを発行し、全戸に配布した。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	A 利用目標380人/日に対し、実績は403人/日と目標に達している。	沿線住民への啓発活動等による利用促進に向けた取り組みだけでなく、全市的なイベント等を活用し市全体の利用促進を実施し、潜在需要の掘り起こしを行い効果向上に努める。
	川東・若松地区 北見ー川東・若松ー北見	北見市の身近な交通の情報を掲載したニュースレターを発行し、全戸に配布した。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された	A 利用目標38人/日に対し、実績は39人/日と目標に達している。	地域住民への利用促進だけでなく、若松市民スキー場や北見ファミリーランド等への施設への移動手段としての利用促進を全市的にいきい効果向上に努める。